令和４年度　小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間（第５学年）

**テーマ〖　ビオトープを復活させよう！　〗**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　池田市立緑丘小学校

≪学習のねらい≫

　・校内にあるビオトープについて関心をもち、自然の生態系を維持するために必要な手立てを考えることができる。

　・生態系をについて学ぶ中で様々な環境問題に興味をもち、私たちの生活と関連させながら、学んだことを発表することができる。

≪学習の流れ≫

　実施時期　　５月　～　３月

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動の主な内容 | 指導のポイント |
| １ | ・現状のビオトープの問題点を話し合い共有する。・課題を解決するための方法を調べる。 | ■様々な視点から問題をとらえられるようにする。 |
| ２ | ・ゲストティーチャーへ課題解決の方法が適切なものか相談し、理想のビオトープについて学ぶ。・「いのちの森」に行き、ビオトープにふれる。　　 | ■質問したい内容をわかりやすく相手に伝えられるようにする。見学したビオトープと比較し検討することで、今までの学びをより深め、具体的な解決手段につながるようにする。 |
| ３ | ・学んだことについて学習支援ソフトを使い、プレゼンテーション資料を作成し、学習発表会で発表する。　 | ■学んできたことを写真や図などを使用しわかりやすくまとめ、聞き手を意識した内容にするようにする。今後の取組みについても触れるようにする。 |
| ４ | ・取り組みの内容をもとに、ビオトープを改修する。・改修後、お披露目式を行う。 | ■全校児童や地域の人にも興味をもってもらえるような活動ができるようにする。 |

≪活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー　等≫

　・いけだエコスタッフのみなさん　　・ビオトープ管理士（ゲストチィーチャー）

・「いのちの森」（京都府）

≪成果≫

　・よりよいビオトープにするために、問題解決への手立てを具体策にして提案できるようになった。

・専門家の意見を聞いたり、見学に行ったりすることで、より真剣に物事を考え解決する姿勢につながった。

・ビオトープだけに限らず、身のまわりの環境問題に繋げて考えている児童が多くおり、次の課題を自ら考えている姿があった。

実際にビオトープを見ながら教えてもらいました。